

2023年
4月号
No.519

生命の炎

LINE公式アカウント
登録お願いします!

http://www.fureaico-op.info

生協の現況(2023年2月現在)
組合員数=16,377名 出資金総額=465,326千円

●発行所: 東京ふれあい医療生活協同組合
〒114-0004 東京都北区堀船3-27-12
電話 (03) 3911-3630

●編集: 『生命の炎』編集委員会 ●発行人: 百瀬 文也

生協50年の歩み

未来へ



当生協のロゴを募集します

東京ふれあい医療生活協同組合が50周年という節目を迎え、

また新生協ビルの建て替えに伴い新たな生協へと踏み出す一歩として、新しいロゴを募集します。

応募いただいたロゴは精査し、6月25日に行われる総代会にて現ロゴとともに投票によって決めさせていただきます。

《応募作品の要件》

- 当生協の基本理念「あなたが主役でいられるまち、ふれあいの“わ”が未来をつくる」に基づいたものもしくは、当生協のイメージに沿ったデザイン。
- オリジナル・未発表の作品。
- 単色・モノクロでの使用を考慮したデザイン。
- 手書き・デジタル問いません。
- 拡大・縮小(最小10mm×10mm程度の大きさでも認識可能)での使用を考慮したもの。

《応募先》

東京ふれあい医療生活協 組織部
住所: 〒114-0004 北区堀船3-27-12
電話: 03-3911-2005
メール: ichiishi@fureaico-op.com
(件名は「ロゴ応募」としていただきますようお願いいたします)
締切: 2023年5月31日(水) 必着

《現行のロゴ》



「虹の声」の箱
ご活用ください!



声(ウオッチング)1階及びエレベーター内の表示が3階の病室がそのまま残っています。診療所より3階デイスの終了とそれに伴う改装があったため変更をせずに待っていました。現在、表示の変更に関して業者に見積もりを依頼中。

声(ウオッチング)パイプ椅子が折りたんで置いてあったがすべて倒れないか不安。必要なら普通の椅子を増やしてはどうか。

診療所より デイスの廃止に伴いデイスで使っていた椅子を再利用して4つ外来に置きました。

声(ウオッチング)1階及びエレベーター内の表示が3階の病室がそのまま残っています。診療所より3階デイスの終了とそれに伴う改装があったため変更をせずに待っていました。現在、表示の変更に関して業者に見積もりを依頼中。

声(ウオッチング)パイプ椅子が折りたんで置いてあったがすべて倒れないか不安。必要なら普通の椅子を増やしてはどうか。

診療所より デイスの廃止に伴いデイスで使っていた椅子を再利用して4つ外来に置きました。

声(ウオッチング)1階及びエレベーター内の表示が3階の病室がそのまま残っています。診療所より3階デイスの終了とそれに伴う改装があったため変更をせずに待っていました。現在、表示の変更に関して業者に見積もりを依頼中。

声(ウオッチング)パイプ椅子が折りたんで置いてあったがすべて倒れないか不安。必要なら普通の椅子を増やしてはどうか。

診療所より デイスの廃止に伴いデイスで使っていた椅子を再利用して4つ外来に置きました。

2022年度 理事会から

1. 経営状況

2023年 1月 事業収益	1億1876万円
経常剰余	633万円
累計 事業収益	12億3933万円
経常剰余	7377万円

1月は630万円の経常赤字となりました。年間の経常剰余は7377万円となっています。

2. 生協ビルについて

3月いっぱいまで生協ビルの解体が終了します。4月7日に地鎮祭を行います。12月に新生協ビルが完成の予定です。

3. 総代会関連

総代会に向けての議論を開始しています。方針・予算・次期理事会体制等について確認を行っています。役員・総代の任期満了となりますので、役員推薦委員会ならびに総代選挙管理委員会を設置します。また、総代会は6月25日を予定しています。

LINE公式アカウントのお知らせ

LINE公式アカウント「東京ふれあい医療生活協」を開設しました。イベント情報やお知らせを中心に、機関紙の更新など、様々な情報をお届けします。梶原診療所とふれあいファミリークリニックの診療予約も、LINEから可能になります。ぜひ東京ふれあい医療生活協LINE公式アカウントを、「友だち」追加してください。LINEの「友だち追加」画面から、「QRコード」を選択し、下のQRコードを読み込んで追加可能です。



植物紹介⑬

カタクリ
(ユリ科)

埼玉県の小川町や寄居町の斜面の林で見られる。早春のバリエーションである。球根から葉粉がとれる。(谷中)



機関紙の電子化について

生命の炎の電子化を積極的に推進しております。紙の機関紙送付が不要になった場合は下記連絡先までご連絡ください。QRコードからメールアドレス読み込み可能です。メールの場合は、●氏名 ●組合員番号(わかれば) ●生年月日 ●住所を記載してください。メール宛先 ichiishi@fureaico-op.com 組織部: 03-3911-2005 (受付時間午前10時~午後5時)



役員選任に関する公告

2023年4月1日
東京ふれあい医療生活協同組合
理事長 土屋 信史

役員の任期満了に伴い、2023年6月25日に開催する第60回通常総代会において、役員選任を行います。役員選任に先立ち、定款及び役員選任規則に基づき、役員の選任を下記の通りに実施しますので公告します。

記

1. 役員の選任を行う総代会の日時および場所

①第60回通常総代会
②日にち 2023年6月25日(日)
③会場 北とびあ13階 飛鳥ホール(東京都北区王子1丁目11-1)

2. 選任する役員の人数

①理事 25名
②監事 3名

3. 申出が出来る方

2023年3月31日に在籍し、同日以降、継続して組合員である方
所定の申出書に組合員2名の推薦人の署名・押印を添えてある方

4. 役員選任区分及び選任区ごとの定数

①地域区 10名
②職員区 10名
③全体区 5名(監事は含みません)

5. 役員の任期

2年

6. 申出の手続き

所定の申出書に必要事項を記入し役員推薦委員会事務局(生協本部・宮の前診療所・ふれあいファミリークリニック)に届け出てください。所定の用紙は各事務局に請求してください。

7. 申出の期間

2023年4月1日(土)9時~4月28日(金)17時まで

8. 問合せ先 役員推薦委員会事務局 TEL 03-3911-2005

総代選挙実施に関する公告

2023年3月20日
東京ふれあい医療生活協同組合
理事長 土屋 信史

第60回通常総代会を開催するにあたり、定款第53条および総代選挙規約に基づき、下記のとおり総代選挙をおこないます。

記

1. 総代立候補の受付期間

2023年3月20日(月)9時から4月28日(金)17時まで

2. 立候補の届出方法

所定の書面に必要事項を完全に記入し、総代選挙管理委員会事務局(生協本部・梶原診療所・宮の前診療所・ふれあいファミリークリニック)に届出てください。所定の用紙は総代選挙管理委員会事務局にご請求ください。

3. 立候補が出来る方

2023年2月28日現在在籍し、同日以降、継続して組合員である方

4. 総代の任期

当選を公告した日から向こう2年間とします。

5. 総代選挙区及び定数

①支部・地区選挙区総代定数(175)
堀船1丁目支部(8)、堀船2丁目支部(7)、梶原支部(13)、堀船4丁目支部(4)、栄町支部(13)、上中里支部(15)、飛鳥山支部(10)、堀船集合住宅支部(7)、西尾久1・2丁目支部(18)、西尾久4・5・6丁目支部(14)、西尾久7・8丁目支部(19)、東尾久支部(18)、小台・宮城支部(19)
昭和町地区(4)、東田端・田端新町地区(2)、豊島5丁目団地地区(2)、王子・王子本町地区(2)
②全体選挙区総代定数(5)
③総代総数(180)

6. 問合せ先 総代選挙管理委員会事務局 TEL 03-3911-2005

ご意見・ご質問・紹介したい記事などございましたらお気軽にお寄せください。

宛先 東京ふれあい医療生活協同組合 機関紙編集委員会
〒114-0004 北区堀船3-27-12
TEL 03-3911-2005 **FAX** 03-5944-6015

MAIL soshiki@fureaico-op.com
メ 前月の第1月曜日まで。
(6月号に掲載したい場合、5月の第1月曜日までに原稿を送ってください。)
※必ず原稿を送る方の名前、住所、連絡の取りやすい電話番号を記載してください。

ワード等で作成したデータをメールで送っていただいても構いません。その際は右記メールアドレスまでお送りください。



よね。でも非選択的というかなんでも1回相談を受けるっていうのを大切にしたいですね。

土屋「そうそう、もう断らないというね。大事だよな。角「なるべく、専門じゃないので」って言わない。渡辺「あんまり詳しくないけど、とりあえず診ますよって」いうスタンスですよな。

角「とりあえず1回来てもらって、みたいな。渡辺「角先生はこれが足りないからって、新たに勉強し始めたことってありますか？」

角「山ほどあります。在宅だと、これまでの経験と比較して重症度が高かった。神経疾患とか、小児麻痺とか。外来では小児が多いです。前にいたところは小児がなかったのでもう1回勉強してます。

土屋「でもそれだけいろいろな人に頼りにされてるっていう、ありがたいこと。

角「あとはじいちゃん診てたら孫が来る。土屋「家族の誰かが気に入ってくれて、初めて家庭医になれるみたいなね。

渡辺「肝心なのは、我慢して無理やりかかってくるけど、本当は他行きたいという人は家族を連れて来ない。百瀬「とくに子どもは連れてこない。子どもを連れて行ったら家庭医療っぽいですよな。

渡辺「信用、信頼があるからこそ家庭医療ですね。土屋「それに加えて友人、知人のその横の繋がりが。百瀬「そうなるとうまに地域医療ですよな。

土屋「家族が塊で来てくれるようになって、そういう点

がどんどん増えて、それがまた友達やPTAの繋がりがたかぬ。そうやってネットワークになっていく。それが生協組織の原点みたいに思うんですね。

渡辺「僕、商店街の魚屋さんで買い物してるんですけど、別に患者さんにしよと思ってるってわけじゃなくて、お客さんとお店の人で関係性ができて、そのあと診察室に来て患者さんと医師の関係っていうのもできて。両方強化されて、お互いが信頼されてなきゃいけない。信用してるからお店行くわけだし、かかる診療所も信用してるから行くんだと思います。

土屋「こっち側のスタンスでいうと、患者で来てくれる人がお店やったら行くのはありますな。

角「そういう意味では小台宮城は、お店が少ないんだよね。お店の人と親しくなると、そこがスピーカーになってくれるんだけど、そういう機能があそこにはない。

渡辺「そういう意味では、梶原診療所が商店街の中に入っていて、商店街の組合にも入ってるっていうのが面白いし、可能性がすごいある。いい形ですよな。

土屋「訪問診療で地域は回ってるけど、それだけではなく地域の人達とついでに接点を持つといいよね。

渡辺「角「重要ですよな。

角「今、家庭医にコミュニティドクター（地域コミュニティの人々とともに幸せをつくっていくドクター）っていうお医者さん結構いるんですよ。

土屋「でも、コミュニティドクターって地域医療医だよな。今後ね、角先生のようにならば、地域医療医を目指してくれるような先生が交流する機会を作りたいの。診療所に研修に来てくれた若手の先生たちがどういう思いでやってくるのかとか、交流できたらいいよね。専門的なことや知識っていうよりも、むしろそのマインドの問題として語り合えるといいかなと。

角「先生なんかバランス取れてると思うんだよね。専門知識や技術やもう一方で研修しながら地域とコミットしたっていうね。なんかそのへんのバランスが



生協ビルの解体作業を見ながら、思いを口にしていた

（地域コミュニ



いいなと思ってる。

先生達の熱い思いはこの後も盛り上がりを見せ、今回の紙面ではすべてをお見せすることができませんでした。そこで、次回から連載でお伝えしていこうと思います。



伝える つなぐ 新たな生協へ

東京ふれあい医療生協50周年を記念して、理事長・土屋悟史先生、梶原診療所所長・渡辺章先生、ふれあいファミリークリニック所長・角允博先生のお三方にこれからの生協のあり方について、専務理事・百瀬文也、組織部・職員理事・目々澤宏治を交えてざっくばらんに話していただきました。



土屋「梶原診療所に勤め始めたきっかけは、初代所長が辞めて人がいなくて鳥根の病院から3年くらい軽い気持ちで来たの。それまでは肝臓内科をやっていた、専門医のレールの上にいたけどすっぱり辞めてきた。

最初は地域医療にちよと戸惑ったよね。皮膚科も耳鼻科も小児科も、全部診なくちゃいけなかったから。今みたいに地域医療のプログラムがなく、見よう見真似で始めたんだ。やつてるうちに地域の人たちと健康班会なんかで親しくなるとね、だんだん面白くなってきた。

地域医療って、家庭医だったり、プライマリ・ケア医（患者を日常的に診て、健康管理と治療、早い段階での一時的な救急処置などを行う）だったり、保健予防活動だったり、そういうのをトータル的に含んだような広い概念かなって。

ある時、看取った町会長のおじいちゃんが「ありがとな」と、亡くなる前の日に言ってくれて、これいいなと思っ

てね。それから結構のめり込んでやつてましたね。

同じ頃に梶原診療所の診療部長だったんだけど、患者さんがすごい来てたのよ。1日400人くらい。ものすごい忙しくて、待ち時間が長いとか色々苦情が出てたから対策を打ったり。予約制もその頃に導入して、少し交通整理をしながらやつてたけど、満杯で第2診療所を作るうって。

でも、その頃はまだ組織部がなく、自分で班会を組織したり、親しい人に頼んで会場貸してもらったりして宮の前診療所をオープンしたの。

その班会を2、3年続けてるうちに、町会長とか老人会の会長さんとかが、「うちでもやつてくれんか」という話になってきて。それからですね、地域を意識するようになったのは。普段の地域との付き合いも大事っていうことを思い



ながらやつてきた。

それに生活協同組合っていう組織なんで、生協とはなんぞやつてね。考えながらやつてるんだけど、今まではこう登り調子だったけど、今は生協に関心のない人が増えて、改めて「生協とは」というようなことを次の時代にに向けて考えないといけない。

地域医療と家庭医療とは？

土屋「私が思う地域医療は、外来でずっと見た人が弱って通えなくなるとそのライフサイクルに合わせて往診もしますよってスタンスでやつてきたの。

今は小児科や整形外科も診れて産婦人科の相談もできることが求められてるんだけど、私の過去を振り返ると、研修医の先生が1つ専門分野を持っていた、在宅医療とか、地域医療をやるほうが長続きする、って思うんですね。

自分の中核になる部分を1つ持っておいたほうが、医者やりのやりがいにもなる。例えば渡辺先生だったら、整形の専門医を持っていた、整形も診れる地域医療医っていうかね。そういうスタンスでやつたらいいな、これいいなと思ってる。

渡辺「土屋先生は当時出始めた腹腔鏡を使って肝臓の検査をし、研究・臨床をやっていたのに、地域に来たら患者さんたちが求めていることと全然違った。でも、そこで合わないから戻ろうじゃなくて、求められている姿になろうって20年、30年であつてこられた。

土屋「地域のニーズっていうのかね。その医療ニーズを自分事として考えて、ちよとずつ自分で勉強しながらね。角「地域医療をやっているとわからないことが多いです

キッズメディカル vol.115

アトピー性皮膚炎にステロイド外用剤は使わない？

健診の時、表題のような質問が来ました。科学的に根拠のない、誤った情報に振り回され不安になり、質問されたのではないかと思います。正しい知識や適切な対処方法を知る機会が少なく、長い間ひどい湿疹に悩まされ続けていると薬や医療を信用できなくなっているという発言が出てくるのではないかと思います。

もちろん患者さんに信用されることが第一ですが、日本アレルギー学会の治療指針では「ステロイド外用薬はアレルギー性湿疹の治療に必要である」と述べています。

目立つことはあります。しかし強い皮膚の炎症を抑えるには、まずステロイド外用薬の塗布が必要です。ステロイド外用剤は、優れた抗炎症作用があります。外用剤により炎症を早期に抑え、しかも十分沈静化するまで塗布することが重要です。

外用薬は、たっぷりしっかりと塗布するようにしてください。薄く伸ばして塗布したり、中途半端に「治ったこと」自己判断で中止することが湿疹を長引かせ、ひどくする原因です。

医師の適切な指示に従い、湿疹が良くなってもステロイドを減量しながら塗布すれば、アトピー性皮膚炎は治癒します。

（倉信）

コラム 聴診器

政府が「脱マスク」の推進を決めました。いよいよ「マスクとおさらば」と思っ、ほっとしたり、顔が寂しいような気がしたり落着きません。高齢者にとってコロナ感染はまだまだ怖い、完全に脱マスクとなるのはまだ先にならなう。

当初、マスク不足、見よう見まねで布製マスク作りに励み、皆で共有しました。そのうち布製マスクはコロナ感染しやすいと不織布マスクが豊富に出始めましたが、T.P.O.に応じて手作り布マスクを今でも頑固に愛用し、楽

しんでいます。

この3年、コロナ禍でマスク生活のため、すっかり化粧をしないう習慣になっちゃいました（内心は染、助かっていました。いざ、マスクを外すとすると、顔全体を化粧しなければなりません。その日に備え、今から急入りに顔のお手入れ、笑顔づくりの練習でもしておこうと考えています。

桜が咲き、外出するにはよい季節です。組合員の皆さんも、鏡に向かい笑ってみましょう!!

（弘子）

